

第71期 中間報告書

令和6年7月1日 ▶ 令和6年12月31日

目次

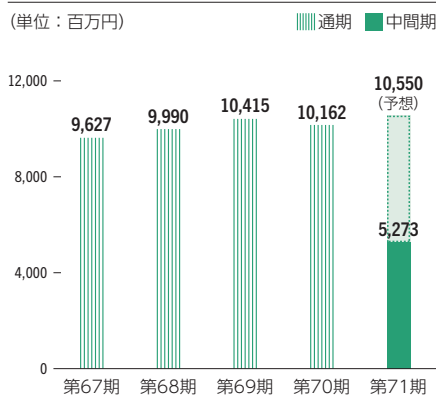
財務ハイライト／主要経営指標	P1
INTERVIEW	P2・P3
TOPICS	
「イベント開催・出展」	
「札幌営業所移転のお知らせ」	P4
株主還元／株式の概要／会社情報	P5
シリーズ企画／株主メモ	P6

財務ハイライト

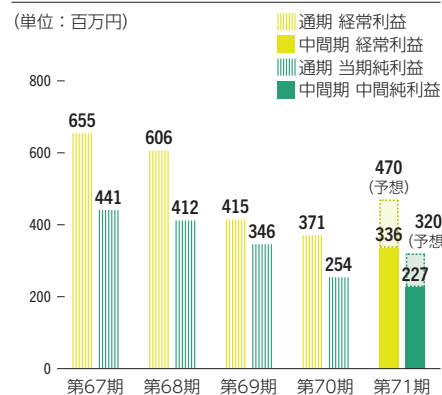
第71期中間期の POINT

第71期中間期の業績につきましては、売上高は52億73百万円(前年同期比0.2%減)、経常利益は3億36百万円(前年同期比36.9%増)、中間純利益は2億27百万円(前年同期比46.7%増)となりました。

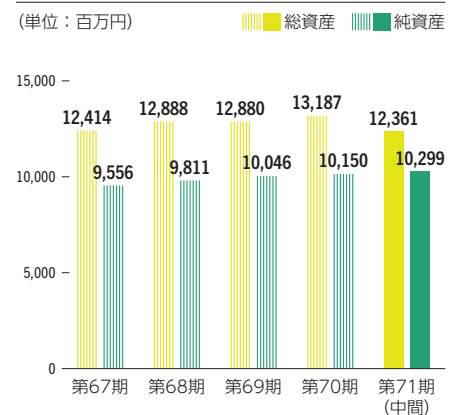
売上高



経常利益／当期(中間)純利益



総資産／純資産



主要経営指標

		第67期	第68期	第69期	第70期	第71期(中間期)
売上高営業利益率	(%)	6.6	5.8	3.6	3.3	6.0
総資本営業利益率(ROA)	(%)	5.2	4.6	2.9	2.6	2.5
自己資本利益率[ROE]	(%)	4.7	4.3	3.5	2.5	2.2
流動比率	(%)	298.4	296.4	300.1	284.9	392.3
固定比率	(%)	51.9	49.7	49.2	50.9	49.4
自己資本比率	(%)	77.0	76.1	78.0	77.0	83.3
1株当たり純資産額	(円)	2,395.3	2,459.2	2,518.1	2,544.1	2,581.5
1株当たり当期(中間)純利益	(円)	110.6	103.3	86.9	63.8	57.1
期末(中間期末)株価	(円)	1,472	1,450	1,161	1,366	1,348
株価純資産倍率(PBR)	(倍)	0.61	0.59	0.46	0.54	0.52

第12次中期経営計画（第71期～第73期）がスタート。 「ものづくり」の原点に立ち返し、 商品の裾野拡大と高収益型企业への回帰を実現すべく 事業展開を図ってまいります。

第71期中間期の取り組みと業績について

国内外の3つの展示会に出展・開催。
お客様との接点を増やして、市場ニーズに対応した
関連商品の拡充と販路開拓に取り組みました。

● 第71期中間期の経営環境について

第71期中間期の住宅市場におきましては、低水準の住宅ローン金利や住宅ローン減税の導入、省エネ住宅への補助金制度など、政府による各種住宅取得支援政策が下支えしました。その一方、建築資材の原材料コストや製造・輸送に係るエネルギーコストの上昇、さらには労務単価の上昇などによって建設コストが高止まりする状況が続いたことから、新設住宅着工戸数は低調な推移を示しました。また建設業界の慢性的な人工不足に加えて、いわゆる「物流の2024年問題」の影響が懸念されるなど、住宅業界を取り巻く環境は依然として先行き不透明感が拭えず、本格的な市場回復にはいまだ至らない水準で推移いたしました。

● 第71期中間期の戦略別取り組みと業績について

市場戦略につきましては、令和6年10月に3つの展示会を開催・出展いたしました。11日・12日に開催された2024全国建具フェア浅草・TOKYO〔第55回全国建具展示会〕（会場：都立産業貿易センター台東館）では、主力商品を展示したほか、引戸を開ける際に手を離れた位置で一時停止し、その後自動で閉まる機能を有する「FC-101半自動引戸クローザーユニットディレイタイプ」や、開き戸の隙間の指はさみを防止する「ドアすきまスクリーン」については、ミニチュアサンプル台を製作して利用・操作方法を分かりやすくご紹介しました。続く17日～19日には「2024秋の内覧会in大阪」（会場：アトム住まいの金物ギャラリー大阪）を開催し、住まいをより快適にする住宅用内装金物を建具や家具に取り付けて幅広く展示しました。その中でも1枚の羽根を操作すると他の羽根も連動して可動する「可動ルーバー」や、引戸の開ける方向を入れ替えられる「連動引戸金具スイッチオープン納まり」などが好評でした。さらにベトナム・ホーチミン市で開催された同国最大級の建築系展示会



「VIETBUILD 2024」に4回目となる出展をし、600人を超える来場者に当社ブースを訪れていただきました。今後も海外協力工場の開拓、現地販売ならびに日本国内への商品供給の拡大に努めてまいります。あわせて現地の建築系展示会を通して市場情報を収集するとともに、当社商品の認知度向上など、本社からの受託業務も遂行しながら所期の目的を果たしてまいります。このように当中間期は積極的なセールスプロモーション活動を通じて市場ニーズに対応した関連商品の拡充と市場への定着に注力し、新商品展開の周知と販路開拓に取り組みしました。なお、西日本市場での販売強化と深刻化する運送コストや自然災害に対するリスク分散など、BCP（事業継続計画）対策を踏まえて運用している「広島営業所・C/Dセンター」につきましては、管理運用する商品を徐々に増やしつつ、商品供給面での顧客満足・サービスの維持向上に努めております。

情報システム戦略につきましては、経営管理体制を支える受発注・会計管理システムを今後の変革にも対応可能なクラウド型システムへ更新するなど、業務効率・経営効率のさらなる向上への取り組みを進めております。またホームページ内では、「atom動画ギャラリー」において商品施工動画を配信し、熟練職人の不足が顕著な建築現場における施工方法や手順、調整方法などが確認できるコンテンツの整備を進めました。「アトムCSタワー」において一部商品の動画閲覧が可能なショールームビューの充実を図るなど、販売支援ツールの拡充に努めております。

こうした取り組みを推進した結果、第71期中間期の業績は、売上高52億73百万円(前年同期比0.2%減)、営業利益3億13百万円(前年同期比38.0%増)、経常利益3億36百万円(前年同期比36.9%増)、中間純利益2億27百万円(前年同期比46.7%増)となりました。また、令和6年8月5日付けで開示した第71期の通期業績予想に対しては、売上面では、新設住宅着工戸数の減少等が影響して僅かに未達となったものの、利益面では、原価低減に繋がる各種投資を積極的に実施したことに加え、原材料価格の高騰を販売価格に転嫁する活動が徐々に浸透してきたことで、営業利益以下、各利益段階において大幅に達成することができました。この結果を受け、令和7年1月27日付けで第71期中間期業績の上方修正を、続く令和7年1月30日付けで第71期通期業績予想の上方修正を開示いたしました。

中長期観点からの取り組みについて

非住宅分野への積極的参入や東南アジア市場における新たなフレームワークを構築するなど、付加価値の創出を目指します。

● 第12次中期経営計画について

当期よりスタートしました第12次ATOM中期経営計画(第71期～第73期)におきましては、前中期経営計画のスローガンである「伝統を活かし、変革に挑む」を継承して新たに企業スピリットとして設定し、その上で「持続的成長に向けた新たな付加価値の創出」という基本方針のもと、「ものづくり」の原点に立ち返り、持続的成長のため商品の裾野拡大と高収益型企業への回帰に努めてまいります。具体的には住宅関連産業のみならず、非住宅分野(店舗・病院・教育・ホテル・介護福祉施設など)へ積極的に参入を図り、東南アジア市場における新たなフレームワークを構築するなど、付加価値の創出によって中長期的に安定した発展を可能とする計画を策定いたしました。

第71期中間期におきましては、アトムCSタワー(東京・新橋ショールーム)4階のホテルの客室や高齢者向け施設、保



育園などの園舎をイメージした非住宅ゾーンに新たな商品を投入するなど、非住宅分野への展開を意識した商品開発に取り組みました。また、利益面でも回復傾向にあり、高収益型企業への回帰に向けて順調に計画が進んでおります。さらに継続的に出展しているベトナムでの展示会を通して、「アトムブランド」の東南アジア市場における認知度も着実に向上しています。これらのことから、第12次ATOM中期経営計画は一定水準で進捗しているものと考えております。

株主の皆様へのメッセージ

多様なメディアを通じてIR活動を展開し、株主の皆様とのコミュニケーションを深め、積極的な配当を実現いたします。

● 株主の皆様とのコミュニケーションについて

当社は持続的な成長と中長期的な企業価値の向上のためには、株主の皆様と積極的な対話を通して得たご意見やご要望を会社の経営に反映させ、株主の皆様とともにアトムブランドを成長させていくことが重要であると認識しております。このためホームページ内の「株主・投資家情報サイト」でタイムリーな情報開示等を行うことで、当社の経営戦略や事業環境に関するご理解を深めていただく活動を継続しています。今後もさまざまなメディアを通じて積極的にIR活動を展開し、株主の皆様とのコミュニケーションを深めてまいります。

● 配当政策について

当社では株主利益の向上を図る観点から、安定的な経営基盤の確保と株主資本利益率(ROE)の向上に努めるとともに、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題として位置づけ、積極的な配当の実現を基本方針にしております。第12次ATOM中期経営計画におきましては、「年間配当金は利益水準のいかに関わらず、最低でも1株当たり30円の配当を維持する」とともに、「5年を節目とする記念配当を実施する」ことを目標としております。この配当方針に則って第71期中間期における配当金につきましては、日頃よりの株主の皆様からのご支援にお応えするため、普通配当の15円に加えて法人改組70周年の記念配当として2円50銭を増額した1株当たり17円50銭とさせていただきます。期末配当につきましては、業績の推移に応じ柔軟に検討してまいりたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、引き続き当社の経営方針ならびに経営施策に対するご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長 **高橋 快一郎**

1 東京・大阪・ベトナムの3拠点で展示会を開催・出展

令和6年10月11日、12日に東京・都立産業貿易センター台東館、10月17日～10月19日に大阪・アトム住まいの金物ギャラリー大阪、10月23日～27日にベトナム・ホーチミンの3か所で展示会を開催・出展いたしました。実際にお客様が商品に触れて動きや操作感が確認できるのは、リアルなイベントならではのことです。ご来場、お立ち寄りいただいた皆様、誠にありがとうございました。今回の展示会でご紹介した商品や展示会の詳しい様子については、アトムニュース220号にも掲載しておりますので、併せてご覧ください。

アトムニュース
220号は
こちらから



東京

2024全国建具フェア浅草・TOKYO「第55回全国建具展示会」に出展

展示内容は「自閉式シンクロ連動引戸」、「重量用ソフトクローズ」、「テープライト」など。「クローザーユニット ディレイタイプ」や「ドアすきまスクリーン」の商品は、縮小サイズで製作した模型を使って、実際の利用法や操作法をご紹介しました。



大阪

「2024 秋の内覧会 in大阪」を開催



住まいをより快適にする住宅用内装金物を、建具や家具に取り付けた状態で幅広く展示しました。

ベトナム・
ホーチミン

ベトナム最大級の建築系展示会「VIETBUILD 2024」に出展



今回で4回目の出展となり、会期中には600人を超える来場者に当社ブースを訪れていただきました。

2 札幌営業所移転のお知らせ

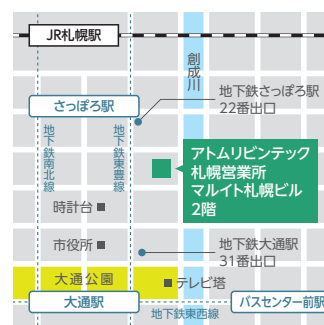
当社札幌営業所は下記の通り移転いたしました(令和6年9月より業務開始)。

今後とも、お客様のサポートには万全を期し、サービスの維持向上に努めてまいりますので、何卒、相変わりにませぬご愛顧ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

アトムリビンテック 札幌営業所

新住所：〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西1丁目1番地 マルイト札幌ビル2階

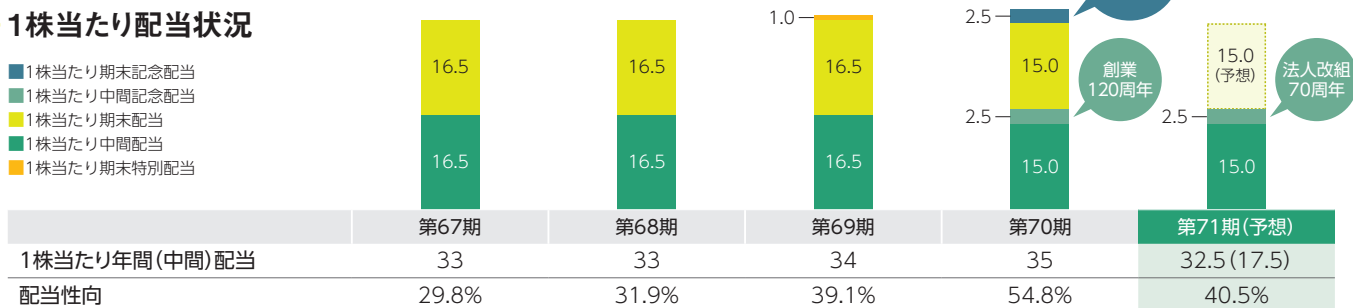
電話番号：011-281-3777 FAX番号：011-281-3778 ※電話番号・FAX番号が変更になっております。



株主還元 (単位: 円)

1株当たり配当状況

- 1株当たり期末記念配当
- 1株当たり中間記念配当
- 1株当たり期末配当
- 1株当たり中間配当
- 1株当たり期末特別配当



株式の概要

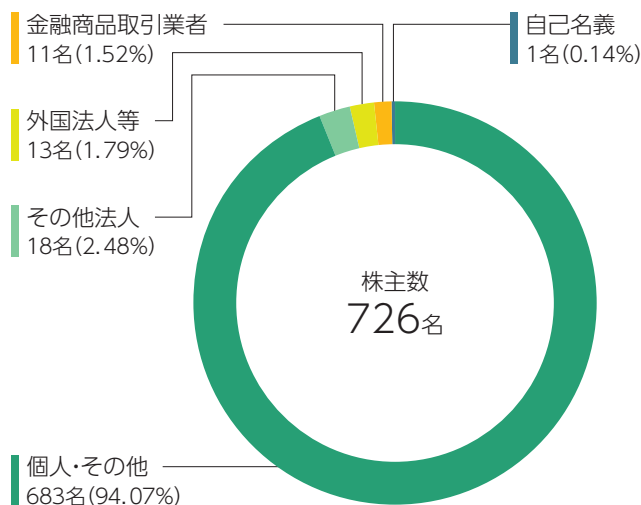
株式状況 (令和6年12月31日現在)

発行可能株式総数 15,420,000株
発行済株式の総数 4,105,000株
株主数 726名

大株主(上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
高橋不動産株式会社	885,440	21.56
高橋 快一郎	790,000	19.24
アトムリビンテック取引先持株会	464,700	11.32
アトムリビンテック従業員持株会	261,160	6.36
高橋 壽子	157,000	3.82
アトムリビンテック株式会社	115,243	2.80
大塚 李代	83,800	2.04
磯川産業株式会社	81,500	1.98
岡崎 衛	81,100	1.97
櫻井金属工業株式会社	71,000	1.72

株主の所有者別分布状況 (令和6年12月31日現在)



会社情報

会社概要 (令和6年12月31日現在)

商号 アトムリビンテック株式会社
創業 1903年(明治36年)
設立 1954年(昭和29年)10月
事業内容 家具用金物・建具用金物・陳列用金物等、
住まいの金物全般の企画・開発・販売
主要取引銀行 株式会社みずほ銀行
株式会社三菱UFJ銀行
株式会社三井住友銀行
従業員数 119名(嘱託7名・パート5名含まず)

役員 (令和6年12月31日現在)

代表取締役社長	高橋 快一郎	常勤監査役	金子 豊
常務取締役	山口 俊	監査役	小瀧 繁幸
取締役	池井 正彦	社外監査役	高島 良樹
取締役	関内 和貴	社外監査役	雨宮 弘和
社外取締役	山下 剛		

事業所一覧 (令和6年12月31日現在)

本社
〒110-8680 東京都台東区入谷1丁目27番4号 TEL 03-3876-0600
アトムC/Dセンター(商品本部)
〒340-0022 埼玉県草加市瀬崎4丁目15番19号 TEL 048-922-5551
札幌営業所 ※令和6年9月9日より下記住所に移転しております。
〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西1丁目1番地
マルイト札幌ビル2階 TEL 011-281-3777
前橋営業所
〒371-0805 群馬県前橋市南町3丁目72番7号 TEL 027-223-2651
広島営業所・C/Dセンター
〒733-0037 広島県広島市西区西観音町8番地6 TEL 082-291-4235
アトムCSタワー
〒105-0004 東京都港区新橋4丁目31番5号
アーバンスタイル事業部 TEL 03-3437-3673
ショップ&ショールーム垂吐夢金物館 TEL 03-3437-3440
アトム住まいの金物ギャラリー大阪事業所
〒564-0052 大阪府吹田市広芝町18番地5 TEL 06-6821-7281

海外拠点 (令和6年12月31日現在)

子会社: ATOM LIVIN TECH VIETNAM COMPANY LIMITED
(ベトナム社会主義共和国)
子会社: 上海阿童木建材商貿有限公司
(中華人民共和国)

アトム
CSタワー
最前線

SPECIAL ISSUE



ギャラリーショップ

KANAGU

～職人技のある暮らしを、スローショッピングで。～

使ってみるとなんだかうれしい、ここちいい。
大切な誰かに贈りたくなる、ちょっといいモノ。
デザイン、素材感、仕上げの隅々まで職人のこだわりが詰まった逸品をセレクトしました。
毎日の暮らしに新しい風を運んでくれるような
職人がつむぐ「モノ語り」を読みながらあなたのお気に入り、
ゆっくり、じっくり見つけてください。



KANAGUとは

職人と職人の出会いから生まれたKANAGU。富山高岡の金属装飾に携わる職人たちとの出会いをきっかけとし、手仕事のぬくもりが伝わる作品をもっと紹介したいと思い、KANAGUは生まれました。美意識と技を持つ職人たちから受け取った熱き想いを「モノ語り」としてお伝えしていきます。

詳しくはこちらを
ご覧ください

https://www.atomlt.com/cstower/category/shop

漆
×
蒔絵
(まきえ)

開運厄除け達磨・招き猫

蒔絵とは漆工芸の技法。工芸品に漆で絵や模様を描き、金や銀の蒔絵粉を散らして付着させる加飾技法です。
本品は「本うるし手書き蒔絵」技法により職人の手仕事で一品一品表情に光彩を添えます。



銀雅堂 達磨
黒達磨・赤達磨・白達磨
13,200円(税込)

サイズ | W70×D70×H77mm
本体重量 | 約950g
化粧箱入り
MADE IN JAPAN

日本の伝統的な御守りとして親しまれる達磨。商売繁盛にも御利益があるとされており、色の違いで縁起物としての意味が変わるといわれています。



銀雅堂 招き猫
黒漆・赤漆・白漆・本錫・消金
13,200円(税込)

サイズ | W53×D53×H79mm
本体重量 | 【黒漆・赤漆・白漆・消金】約290g
【本錫】約180g
化粧箱入り
MADE IN JAPAN

右手を上げている招き猫は、「福を招く」猫。金運アップや、運氣上昇を願う人に寄り添う招き猫です。

銀 雅 堂
GIN GA DO

伝統の美が光るブランド「銀雅堂」

仏像や仏壇、兜など和の文化を大切にした商品を扱い、現代の暮らしの中で日本の文化が身近に感じられる商品をご提供させていただいております。

商品情報は
こちらから

株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月に開催
配当金受領株主 確定日	毎年6月30日 中間配当金を支払うときは毎年12月31日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
(郵送先)	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所	東京証券取引所	スタンダード市場
公告方法	電子公告(当社のホームページに掲載いたします。) https://www.atomlt.com/ir/financial/koukoku/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)	

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

Atom
Livintech

〒110-8680 東京都台東区入谷1丁目27番4号
TEL 03(3876)0600(代表)
ホームページ https://www.atomlt.com/

UD FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。